

# さらば追憶

信念の鎧を纏う、気高き現代の騎士、それが他者を護るカプトというスタイルだ。

『①カプト』がかつて護れなかったもの——その過去の追憶が、今、再び運命の扉を開く。

(掲載日：2016.6.28)

## プレアクト情報

## PRE-ACT INFO

### ■シナリオ基本情報

#### ▼作者

SONE (twitter : @sone\_99)

#### ▼プレイヤー人数

2人

#### ▼想定プレイ時間

3時間程度

#### ▼シナリオタグ

2人用シナリオ、ボディガード、復讐

### ●このシナリオについて

カプトというスタイルに焦点を当てたシナリオだ。主人公である『①カプト』には、かつて、大切なバディを護れずに死なせてしまったという過去がつく。

シンプルな構造で遊びやすく、叙情的な雰囲気をもつに楽しむことができる。

### ●シナリオレギュレーション

本シナリオの想定レギュレーションを以下に記載する。ただし、使用するデータの変更やRLが調整を行った場合、改めてレギュレーションを提示すること。

#### ▼使用経験点

0～50点

#### ▼RLが使用するサプリメント

「TOS」「CTL」

### ■アクトトレーラー

キャスト作成の前に、以下のアクトトレーラーを読み上げること。これはアクトのイメージを膨らませるのに役立つ。

カプトのもとに舞い込んだ、新たな仕事。  
護衛対象は、かつて護れなかった女と、同じ名前  
で同じ顔。  
それは忘却の闇の底から現れた復讐者。  
過去の亡霊が古傷を抉り出す。  
さらば愛しき人。  
さらば追憶の日々。  
今、ひとつの記憶を封印しよう。

トーキョーNOVA THE AXLERATION

『さらば追憶』

運命のあの日を再演する。

## ■キャスト作成

プレアクトシート（アクトトレーラー、ハンドアウトなど）を参考にキャストを作成すること。

## ●クイックスタート

本シナリオでは、以下のサンプルキャストを使用することを推奨する。

『①カプト』：現代の騎士（『TNX』 p90）

『②ニューロ』：ニューロキッズ（『TNX』 p98）

## ●必要な神業

敵の即死系神業によってキャストが死亡するのを防ぐために、キャスト全員で2個以上の防御系神業があるとよい。また、神業によって隠蔽された情報が1個存在する。

## ■キャスト間コネクション

相互に取得すること。

# アクトハンドアウト

各キャストには右記の設定が推奨・あるいは追加される。  
キャスト作成時によくプレイヤーと相談すること。

各キャストには、以下の設定が推奨・追加される。

『①カプト』：フリーランスのボディガード

『②ニューロ』：『①カプト』の相棒

### ①推奨スタイル：カプト

SCENARIO HANDOUT

#### コネ：“ジュリア”

推奨スト：感情

キミはかつて、ジュリアという女と組んでいた。ある仕事で、キミは非情なる選択を迫られた。護衛対象とジュリア、護れるのはひとりだけ。キミは選択し、ジュリアは死んだ。それは彼女も望んでいたことだったが、心の古傷は今でも時々、ひどく痛むのだ。

時は流れ、キミのもとに新たな依頼が舞い込んだ。護衛対象はジュリアと同じ顔、同じ名前の女だった。

【PS：“ジュリア”を護る】

### ②推奨スタイル：ニューロ

SCENARIO HANDOUT

#### コネ：“ジュリア”

推奨スト：外界

キミは『①カプト』の相棒だ。キミたちの今回の護衛対象は、ヴィル・ヌーヴからやってきた古美術ブローカー・ジュリア。身元には一見して不審な点はなく、報酬も高額。文句のつけようのない仕事だが、どうにも拭いきれない違和感を覚えている。

そう言えば、キミの前に『①カプト』と組んでいた女も、ジュリアという名の女だったらしいが……？

【PS：“ジュリア”を護る】

# RL用テキスト

TXT 4 RULER

## ■ストーリー

かつて『①カブト』は、相棒のジュリア(\*1)を失った。護衛対象とジュリア、片方だけしか護れない状況で、護衛対象を優先したからだ。

それから時は流れ、ジュリアの妹ロベリア・クロフォードは『①カブト』の存在を知り、ある計画を立てた。それは姉を見殺しにした『①カブト』への復讐。手段は、殺し屋を雇っての狂言殺人。まずロベリアはジュリア・クロフォードという偽名で『①カブト』に依頼。『①カブト』にジュリアと同じ名前・同じ顔(ジュリアとロベリアは双子のように似ている)の自分を護衛させ、失敗させることで、“ジュリアの死”を再現する。これにより『①カブト』のスタイルを否定し、苦しみを与えることができると考えた。

だが、ロベリアの計画の裏で、もうひとつの計画が進行していた。ロベリアに雇われた殺し屋スコルピオン。彼はかつて『①カブト』によって暗殺に失敗し、ジュリアを殺害した殺し屋だった。スコルピオンは『①カブト』を恨んでおり、ロベリアの狂言殺人計画を、本物の殺人計画へと変更。

かくして二重の“ジュリアの死”再現計画が始動する。このアクトは、スコルピオンの計画を粉碎することで終了となる。

## ■メインプレイ

本シナリオでは、ルーラーシーンなどでなければ、キャストは2人でチームを組み、常にシーンに登場しているものとする。よって、個々のシーンの登場判定の難易度などをシナリオ側で設定しない。シーンプレイヤーは状況に応じて決めること。

## ■クライマックスの条件

スコルピオンの拠点である「スラムの廃教会」のアドレスに向かうことで、クライマックスに移行する。

### (\*1) 2人のジュリア

このシナリオには、ジュリアという名前の人物が2人登場する。1人は『①カブト』の相棒で、故人のジュリア。もう1人はその妹、ロベリアが偽名として名乗るジュリア・クロフォードだ。プレイ中は混同に注意せよ。

シナリオ本文では、前者を単にジュリア、後者をジュリア(ロベリア)と表記する。口頭では、ファーストネームだけか、フルネームで呼ぶかで使い分けるとよい。

# オープニングフェイズ

OPENING PHASE

## ●オープニング1：追憶1

### ◆解説

『①カブト』の過去を描く回想シーンだ。『②ニューロ』は登場不可。描写1でジュリアとの関係を描いた後、描写2で彼女との別れを描く。

### ◆描写1

かつて『①カブト』とジュリアが組んで仕事をしていた頃のことだ。バーでジュリアと一杯やりながら。

#### ▼セリフ：ジュリア

「ねえ『①カブト』。あたしらってさ、結構いいパートナーだと思うんだけど、どうかな」

(肯定した)「えへへー、そうだよな」

(否定した)「ええー、そうかなあ。まあいいけど」

「……言っておきたいことがあるんだ」

「もし、あたしがピンチになったとしても、仕事を放り出してまで守なくていいからね。逆の立場でも、あたしは『①カブト』を守らないから」

「深い意味があるわけじゃないよ。その方が気楽だからさ。そういうつもりでいてねって話」

「約束だからね」

### ◆描写2

その後、エグゼクを護衛する仕事で、この会話は現実のものとなった。暗殺者(\*2)の凶弾が、護衛対象とジュリアに向かう。『①カブト』は護衛対象を優先した。銃撃を受けたジュリアは、最後の力で暗殺者を返り討ちにし、倒れた。

#### ▼セリフ：ジュリア

「……(何事か『①カブト』にささやくが、聞き取れない)」

### ◆結末

描写を終えたら、シーンを終了する。

### (\*2) 暗殺者

後のスコルピオンだ。この段階では詳しく描写する必要はない。

## ●オープニング2：依頼

### ◆解説

『①カブト』と『②ニューロ』のオープニング。ジュリア（ロベリア）からの依頼を受けるシーン。

描写1で依頼の説明を終えたら、描写2に移行する。ジュリア（ロベリア）に対し《とどめの一撃》が使用される。ジュリア（ロベリア）は《ブリーズ！》で『①カブト』の《難攻不落》を使用させ、それを防ぐ。

### ◆描写1

喫茶店で護衛対象と待ち合わせる『①カブト』『②ニューロ』。その前に現れた護衛対象は、ジュリアと同じ顔、同じ名前の女だった。

#### ▼セリフ：ジュリア（ロベリア）

「ジュリア・クロフォードです。私の顔に何か？」  
「世の中に似た顔の人間が3人はいると聞きます。名前も、珍しいものではありません。偶然でしょう」  
「ヴィル・ヌーヴで、古美術商を営んでおります。N◎VAで買い付けを済ませるまでの間、護衛をお願いします」

「何者かに命を狙われているのです。心当たり（\*3）はありません。ただ私が死ねば、倉庫で売却機会を待っている古美術品が、遺産整理のための競売で表に出ることになります。そんなことを考える輩がいても、不思議ではありません」

「『①カブト』様と『②ニューロ』様は、優秀な方だと聞き及んでいます。どうか私を護ってください」

### ◆描写2

依頼を受けた次の瞬間。はるか遠方のビルから一発の弾丸が飛来する。狙撃だ（《とどめの一撃》（\*4））！『①カブト』は考えるよりも先に、依頼人を守るために動いていた（《ブリーズ！》で《難攻不落》を使用させる）

#### ▼セリフ：ジュリア（ロベリア）

（守った）「お見事です。それではよろしくお願ひします」

### ◆結末

狙撃されながらも、その女は顔色ひとつ変えることはなかった。奇妙な依頼人の護衛がこうして始まった。シーンを終了する。

#### （\*3）狙われる心当たり

ジュリア（ロベリア）の語る古美術品の競売云々は、狂言殺人に説得力を持たせるための嘘っぱちだ。もっとも彼女が古美術商で、買い付けに来ていることは本当だ。狂言にリアリティを与えるには、普段の仕事が普段通りに行なうことが賢明だ、と考えてのことだ。

#### （\*4）とどめの一撃

これはニードル（別項）の神業だ。ジュリア（ロベリア）は狂言だと思っているので平然としているが、ニードルは明確に殺害を意図している。

No Image

#### ■ジュリア

ミストレス●、カゼ、カブトワリ◎

#### ▼設定

「<sup>オフENSE</sup>あたしが攻撃で、<sup>ディFENSE</sup>あんたが防御、いいチームじゃない？」

『①カブト』のかつての相棒。死亡時点で20代後半。ヴィル・ヌーヴの名家クロフォード家を出奔し、裏社会に身を投じた。銃の扱いに長けたカブトワリで、ウマのあった『①カブト』とコンビを組んでいた。病気であと数年しか生きられないことを知っており、『①カブト』の負担になることを嫌って、暗殺者と相打ちとなり死亡した。

さっぱりとした快活な性格で、最後の瞬間まで奔放に生きた自由人。

#### ▼神業

■ファイト！（イベントで使用）

No Image

#### ■ジュリア（ロベリア）・クロフォード

マネキン、フェイト●、エグゼク◎

#### ▼設定

「ご無礼。愛想がないのは性分ですので」

『①カブト』のかつての相棒と同じ名前・同じ顔の古美術商。その正体は、ヴィル・ヌーヴの名家クロフォード家の当主。姉ジュリアが家督を放棄して出奔、勘当されたことで当主となった。彼女自身は、奔放な姉を強く慕っていた。最近になって姉の死を知り、ジュリア・クロフォードを名乗って一連の偽装殺人を計画した。

クロフォード家の家業は代々古美術品扱うブローカーで、その点に関する情報は嘘ではない。姉ジュリアと顔がそっくりなのは、単に姉妹だからだ。奔放で明るい姉とは正反対の、クールで落ち着いた性格。

#### ▼神業

■ブリーズ！（イベントで使用）

■真実（イベントで使用）

■買収（プロファイルを改竄）

# リサーチフェイズ

## RESEARCH PHASE

### ●イベント1：護衛Ⅰ

条件：リサーチフェイズ最初のシーン

#### ◆解説

ジュリア（ロベリア）の買い付けに同行し、護衛するシーン。

スコルピオンに雇われた暴漢が襲って来る。レックートループ（『TOS』p145）とのカット進行となる。1グループ20人がキャストたちから近距離に位置している。ジュリア（ロベリア）はカット進行には関わらない。

#### ◆描写

アサクサの古物街で、市井に埋もれている貴重品を物色するジュリア。そこに裏路地からガラの悪い連中が現れ、襲いかかる。

#### ▼セリフ：ジュリア（ロベリア）

「掘り出し物を見つけられました」

（暴漢を撃退した）「済んだようですね。次へ行きましょう」

#### ▼セリフ：暴漢

「よう姉ちゃん、悪いが死んでもらうぜ」

「殺す前に楽しませてもらうがね、ヒヒッ」

（撃退した）「つ、強え〜！」

「見逃してくれ、俺たちは雇われただけだ。誰にとって？」

「知らねえよ、詮索しない約束だったんだ」

#### ◆結末

暴漢を撃退すると、シーン終了。

### ●イベント2：護衛Ⅱ

条件：「●イベント1：護衛Ⅰ」の次のシーン

#### ◆解説

ジュリア（ロベリア）の買い付けに同行し、護衛するシーン。

ジュリア（ロベリア）に出された酒に毒(5)が盛られている。〈医療〉か〈製作：ドラッグ〉（なければ〈社会：テクノロジー〉）による代用判定の目標値12の判定に成功すれば、毒を看破し、ジュリア（ロベリア）を救うことができる。全員失敗した場合、ジュリア（ロベリア）は酒を飲んでしまい、死亡する。神業によって救わなければならない。

#### ◆描写

ジュリアとともに、ある好事家の家にやってきた。コレクションに関する商談のためだ。商談は成立し、もてなしの酒が振る舞われる。

#### ▼セリフ：ジュリア（ロベリア）

「良いコレクションです。相場の2割増しで買い取りましょう」

（毒を看破した）「さすがですね。では次に行きましょう」

#### ▼セリフ：好事家

「ありがたい、商談成立ですな。ささ、一杯どうぞ」

（毒を看破した）「そんな、いつの間に。一体誰が？」

#### ◆結末

毒酒からジュリアを守ったら、シーン終了となる。

### ●イベント3：護衛Ⅲ

条件：「●イベント2：護衛Ⅱ」の2シーン後

#### ◆解説

ジュリア（ロベリア）の買い付けに同行し、護衛するシーン。

オークション会場に仕掛けられた爆弾(6)を解除する。解除するには、〈電脳〉か〈製作：武器〉（なければ〈白兵〉による代用判定）の目標値12の判定に成功すること。全員が解除に失敗した場合、キャストとジュリア（ロベリア）は全員死亡する。何らかの神業が必要となるだろう。

#### ◆描写

ジュリア（ロベリア）とともに、豪華なオークション会場にやってきた。華やかなセレモニーとともに競売が始まる。だが『①カブト』は、会場内に違和感を覚える。違和感の元を探すと——不審な荷物を発見する。中身は、この会場すべてを吹っ飛ばせる爆弾だ。会場の人々を非難させている時間はなさそうだ。ここで解体しなければ。

#### ▼セリフ：ジュリア（ロベリア）

「爆弾、ですか……」

「会場の人々を避難させたり、警察の爆弾処理班を待つ時間はなさそうです。この場で解除してください」

「私は逃げません。他人を巻き添えにしておいて、自分だけ逃げる気はありません。お願いします」

（解除した）「良かった……」

「（小声で）こんなこと……やり過ぎです……」

#### ◆結末

爆弾の解体が完了すると、シーン終了となる。

#### (5) 毒

酒に毒を仕込んだのはシザース（別項）だ。このためにシザースは〈不可知〉を使用している。

#### (6) 爆弾

爆弾を仕掛けたのはニードル（別項）だ。このためにニードルは〈タイムリー〉を使用している。



## ●イベント4：抗議

条件：「●イベント3：護衛Ⅲ」の直後のシーン

### ◆解説

ルーラーシーン。ジュリア（ロベリア）がスκολピオンに抗議の連絡を入れるシーン。爆弾に関しては、ジュリア（ロベリア）は完全に「やり過ぎだ」と感じている。狂言殺人に、無関係な人間を巻き込む気はないのだ。

### ◆描写

ホテルの部屋に戻ったジュリア（ロベリア）が、ポケットロンでどこかに連絡を入れる。

#### ▼セリフ：ジュリア（ロベリア）

「ミスター・スκολピオン、これはどういことです。爆弾はやり過ぎです」

「一歩間違えばどうなっていたか。この計画の目的は解っていますね」

「今後、絶対にこのようなことがないようにお願いします」

### ◆結末

通信を終えると、シーンを終了する。

## ●イベント5：真相

条件：【ジュリア・クロフォードの正体】の情報を得た

### ◆解説

ジュリア（ロベリア）を問いただすシーン。彼女は計画のすべてを語る。

### ◆描写

ジュリア——いやロベリア・クロフォードは、淡々とすべてを語り始めた。

#### ▼セリフ：ジュリア（ロベリア）

「どうやら、知ってしまったようですね」

「私はジュリアの妹、ロベリア・クロフォード。もはや、この茶番劇を続ける理由はありません。すべてをお話します」

「『①カブト』、これはあなたへの復讐なのです」

「殺したかったわけではありません。姉を見殺しにしたあなたが、人を守るカブトというスタイルを続けていることが許せなかった。私の復讐は、あなたにカブトをやめさせることでした」

「だから、あなたに護衛されて、目の前で死んでやることにしたのです。もちろん、本当に死ぬ気はありません。殺し屋を雇って、偽装殺人をするつもりでした」「そうすれば、あなたは無力感から、カブトを辞めざるを得なくなると考えたのです」

「殺意？ それは恐らく、殺し屋を通して私の憎しみを感じ取った、ということでしょう」

「ですが、うまく行きませんでした。あなたがたは優秀なボディガードです。悔しいですが、それは認めるしかありません」

「報酬は、迷惑料をつけてお支払いします。殺し屋の方々に、終了の連絡を入れます。仕事はここまでです。ありがとうございました」

### ◆結末

ジュリア——ロベリアは、そのまま去っていく。会話を終えたら、シーンを終了する。

## ●イベント6：計画

条件：「●イベント5：真相」の直後のシーン

ルーラーシーン

### ◆解説

ロベリアが狂言殺人の中止を連絡するが拒否され、スκολピオンの一味（シザース）によって誘拐される。

### ◆描写1

ひとりホテルの部屋に戻ったロベリアが、どこかに連絡を入れる。

#### ▼セリフ：ロベリアとスκολピオン（通信）

「ミスター・スκολピオン、もう計画を続ける意味はありません。依頼は終了です」

「それは困るな、ミス・クロフォード。こちらにもこちらの計画がある」

「言っている意味が解りません。報酬はお支払いしますが——」

「どうあっても『①カブト』に、もう一度“ジュリア”が死ぬ様を見せてやりたいのだ。この私がね！」

### ◆描写2

突然、ドアを蹴破って屈強な男が入ってくる。抵抗するロベリアを気絶させ、そのまま連れ去っていく。

#### ▼セリフ：ロベリア

「くっ、『①カブト』——」（気絶させられる）

### ◆結末

描写を終えたら、シーンを終了する。

## ●イベント7：挑戦

条件：「●イベント6：計画」の直後のシーン

### ◆解説

スכולピオンから、ロベリアを確保した旨のメッセージが届くシーン。

スכולピオンの挑戦を受ける (7) かどうか、『①カブト』のプレイヤーに確認する。受けるなら、[SPS：『①カブト』がスタイルを貫く（5点）]と[アドレス：スラムの廃教会]を提示する。受けないなら注釈欄を参照。

### ◆描写

『①カブト』と『②ニューロ』の端末に、メッセージが届く。メッセージを開くと、サソリのアイコンがARで表示される。

#### (7) 挑戦を受けない

自分を騙そうとした女を守る義理はない、依頼なしでは動けない、などの理由で、廃教会へ行くことを拒むプレイヤーもいるだろう。至極もっともな話だ。その場合、ロベリアの死体の映像が送りつけられ、スכולピオン一党が襲撃してくる。これをクライマックスとする。

## ▼セリフ：スコルピオン

「私はスコルピオン。“ジュリア”を預かっている」  
 「最初から、ロベリア・クロフォードの復讐ではなかったのだ。これは私の復讐だ」  
 「私が誰かって？ そんなことはどうでもいい。ただ、『①カプト』に恨みを持つ人間さ」  
 「スラムの廃教会に來たまえ。まあ、別に來なくてもいい。起きることは何も変わらない。キミが“ジュリア”の死を、特等席で見られなくなるだけのことだ。これはキミのためのショウだから、唯一のオーディエンスがいないのは寂しいが」  
 「今度の“ジュリア”は守りたいかね？ ならば來るがいい、『①カプト』」

## ◆結末

キャストが次なる行動を決めたら、シーンを終了。

## ●イベント8：追憶Ⅱ

条件：【ジュリア】【スコルピオンの正体】の情報を得た

## ◆解説

スコルピオンの正体を知った場合、このシーンが発生する。シーンプレイヤーは『①カプト』。『②ニューロ』は登場不可。ジュリアの死を、より詳しく回想する過去のシーンだ。

ジュリアは最後に、『①カプト』の《難攻不落》に《ファイト！》を使用する。

## ◆描写

『①カプト』の腕の中で、体温を失っていくジュリア。

## ▼セリフ：ジュリア

「気にやむことじゃない。どうせ長くない命さ」  
 「あんたに“護衛に失敗したカプト”なんて評価がついちまうのが嫌だった。それだけさ」  
 「あんたはこれから、もっともっと大勢の人を守るんだ。こんなところで、つまずいてちゃダメだよ」  
 「組めて楽しかった。次はもっとマシな相棒を見つけなよ」  
 「いいカプトにおなり、『①カプト』《ファイト！》を使用し、力尽きる」

## ◆結末

神業の処理を終えたら、シーンを終了する。

## ■情報項目

リサーチフェイズ開始時に調べることが出来る情報項目は以下のとおり。

- ・ジュリア
- ・ジュリア・クロフォード
- ・襲撃者

## ◆ジュリア

〈コネ：ジュリア、『①カプト』〉〈社会：ストリート〉

- 8 数年前『①カプト』と組んでいた荒事屋（カプトワリ◎）、故人。死亡時点で20代後半。『①カプト』に護衛対象を守らせたことで、自らは暗殺者と相打ちとなって死亡。
- 12 自分の過去については、何も語らなかった。はすっぱな言動の裏に、育ちの良さが垣間見えることがあった。ヴィル・ヌーヴの名家の生まれという噂もあった。
- 14 治療方法のない病で、30歳まで生きられない身の上だった。短命な自分のために、他人の負担となることを良しとせず、自分の命を軽く扱うよう周囲に求めていた。

## ◆ジュリア・クロフォード

〈コネ：ジュリア〉〈社会：社交界、企業、メディア〉

- 8 ヴィル・ヌーヴの古美術商（エグゼク◎）、20代後半。『①カプト』のかつての相棒と同じ名前、同じ顔の女性。現在NOVAに商品の買い付けに来ており、暗殺者に命を狙われている。
- 14 【プロフィール改竄】の形跡がある。

## ◆襲撃者

〈社会：ストリート、警察〉

- 10 正体を知られるような痕跡を残さない、プロの暗殺者だ。狙撃や毒殺など、暗殺手段が多岐に渡ることから、複数人のチームと思われる。
- 13 その執拗さ・周到さから、明確な殺意が背景にあるようだ。金目当てではなく、怨恨の可能性が高い。

## ◆プロフィール改竄

〈コネ：ジュリア〉〈社会：テクノロジー〉

- 16 ほとんどのプロフィールは真実だ。ごく一部の情報を改竄した形跡があるが、その改竄箇所の特定は難しい。改竄箇所を特定し、【ジュリア・クロフォードの正体】を暴くには、神業が必要だ。

## ◆ジュリア・クロフォードの正体 (\*8)

神業 ジュリア・クロフォードの本当の名前は、【ロベリア・クロフォード】。ヴィル・ヌーヴの名家クロフォード家の現当主だ。ジュリア・クロフォードとは、かつて勘当されたロベリアの姉の名だ。ロベリアの姉とは、『①カプト』の相棒だったジュリアその人だ。

## (\*8) ジュリア・クロフォードの正体

この情報項目は、ジュリア(ロベリア)の《買収》によって隠されている。これを調べる神業は《電脳神》を想定している。

## ◆ロベリア・クロフォード

〈コネ：ジュリア〉〈社会：社交界、企業、メディア〉

- 10 ヴィル・ヌーヴの名家クロフォード家の当主。スタイルはマネキン、フェイト●、エグゼク◎。
- 12 姉のジュリアが家督を放棄して出奔、勘当されたことで当主となった。ロベリアは自由奔放な姉を強く慕っていた。
- 14 最近、【スコルピオン】という暗殺者に接触した。

## ◆スコルピオン


〈社会：ストリート、警察〉

- 10 正体不明のストリートの殺し屋。サソリのアイコンで接触することだけ知られている。
- 13 狙撃、爆弾、毒殺など、さまざまな暗殺スタイルを持つ。複数人で構成される暗殺者ユニットだ。
- 16 現在の構成員は3人。薬物の扱いと近接格闘術に長けたシザース(カゲ◎) 爆発物と狙撃に長けたニードル(カプトワリ◎) そして全体を仕切るリーダーが、ユニット名のスコルピオンを名乗る。その正体は不明(【スコルピオンの正体】)

## ◆スコルピオンの正体

〈コネ：ジュリア〉〈社会：ストリート、警察〉

- 10 かつてストリートで依頼達成率100%を誇った、名もなき殺し屋。最後の仕事で返り討ちにあい、任務に失敗。一命は取り留めたものの障害が残り、暗殺者生命を絶たれた。その後クロマクに転身し、スコルピオンというチームを立ち上げた。
- 13 暗殺者としては再起不能。神業のみ使用するエキストラだ。スタイルはクロマク＝クロマク◎、カプトワリ●。《腹心》にはシザースとニードルを指定している。
- 16 スコルピオンの暗殺者としてのキャリアを破壊したのは、『①カプト』とジュリアだ。ジュリアと相打ちになった暗殺者がスコルピオンだ。



## RLガイド

このシナリオは、極めてシンプルな内容だ。シーンの展開もイベント主導で、悩むべき箇所はそうないはずだ。だがシンプルなぶん、淡々と進んでしまう可能性もある。盛り上げるシーンとあっさり流すシーンを見極め、メリハリをつけて遊んでもらいたい。

▼『①カプト』について

本シナリオでは、『①カプト』がストーリー上のリソースの大半を占有する。『①カプト』がカッコ良ければ、それだけでアクトは成功したも同然だ。プレイヤーの頭の中にある「NOVAで一番カッコ良いボディガード」を引き出してもらおうと良いたろう。

▼『②ニューロ』について

一方で、『②ニューロ』に割かれるストーリー上のリソースはほとんどない。バランスの悪い、不平等な配分となっている。だが筆者は、中途半端に『②ニューロ』用のリソースを用意するより、結果的に面白いアクトを生むと考えている。『②ニューロ』には、『①カプト』をより輝かせる助演キャストという立ち位置を意識してもらおうと良いたろう。

▼ロベリアについて

本シナリオのヒロイン・ロベリアは、『①カプト』を憎んで陥れようと近づくと、かなりの確率で「こいつ助けたくない」と「見捨てられやすい」造形になっている。もしそうだったとしても、クライマックスは発生するように作ってある。ただ、できればプレイヤーと相談して「どういう理由があれば助けられるか」を確認してみてほしい。そして「その理由を得られるシーン」を即興で考えるのだ。人数が少ないぶん、個々のプレイヤーのケアにいつも以上に注力できる……それもまた少人数アクトの強みのだから。

▼他シナリオとの関係

本シナリオとNeuro / CrowD シナリオ No.026『殺し屋たちの挽歌』とは、さまざまな要素が似通っている。これは筆者が「同じ要素で複数のシナリオを作る」ことに凝っていたためだ。こういう遊びは結構楽しいので、いっぺんお試しあれ。



# クライマックスフェイズ

CLIMAX PHASE

## ●クライマックス：復讐

### ◆解説

廃教会で、スコルピオン一味と決着をつけるシーン。  
キャストは描写2から登場する。

スコルピオンはロベリアに《とどめの一撃》を使用する。その後、カット進行となる。敵はシザースとニードル。キャストたちから近距離に位置している。

ロベリアはカット進行には関わらない。スコルピオンはエキストラだ。シザースとニードルの2人を倒せば、宣言のみで倒すことができる。

### ◆描写1

廃教会。拘束されたロベリア。車椅子の男がロベリアに銃口を向けている。他には狙撃銃を構えた女と、2本の山刀を持った男。

#### ▼セリフ：ロベリア

「こんなことをしても、『①カブト』は来ません」  
「『①カブト』は優秀ですが、自分のキャリアのために姉を見殺しにした人間です」  
「すでに依頼は終了しました。来る理由などありません」

#### ▼セリフ：スコルピオン（車椅子の男）

「はは、来ないなら来ないで構わんよ。キミを殺す一部始終を映像に収めて、送りつけるだけさ。『①カブト』にはたっぷり後悔してもらった後、こちらから伺うでしょう」

### ◆描写2

やってきた『①カブト』に、ロベリアは驚きを隠せない。

#### ▼セリフ：ロベリア

「『①カブト』……」

#### ▼セリフ：スコルピオン

「よく来たな『①カブト』。私のことなど覚えていないだろう」

「かつての私は、依頼達成率100%の殺し屋だった。しかし、貴様とジュリアという女にキャリアを破壊された」

「私はスタイルを変え、スコルピオンとなり、碎かれたキャリアを再び積み上げた。血のにじむような労苦の末、ようやくここまで来たのだ」

「あの女の妹から狂言殺人の依頼が来たときは、狂喜したよ。なんという巡り合わせだと救世母に感謝した。ついに『①カブト』に復讐する時がやってきたと確信した」

「もう一度“ジュリア”を殺し、貴様のスタイルを否定してやる！《とどめの一撃》」

（防いだ）「チッ！ ならばシザース、ニードル！  
まずは『①カブト』を血祭りに上げるのだ！」

（倒した）「バカなー！」

#### ▼セリフ：シザース

「俺たちはスコルピオン、3人で1匹のサソリ！」

「師匠の敵は俺の敵、『①カブト』を殺す！」

#### ▼セリフ：ニードル

「私たちはスコルピオン、3人で1匹のサソリ！」

「師匠の敵は私の敵、『①カブト』に死を！」

### ◆結末

スコルピオンたちを倒し、ロベリアを救うことで、エンディングフェイズへ移行する。

No Image

### ■スコルピオン

クロマク=クロマク②、カブトワリ●

#### ▼設定

「我らはスコルピオン、3人で1匹のサソリだ」

車椅子のフィクサー、暗殺者ユニット“スコルピオン”の頭目。シザースとニードルを鍛え上げ、動けない自らの手足とした。

かつてストリートで依頼達成率100%を誇った、名もなき殺し屋。最後の仕事でジュリアと相打ちとなり、任務に失敗。生き残ったか障害が残り、暗殺者生命を絶たれた。その後クロマクに転身し、“スコルピオン”を立ち上げた。暗殺者としてはすでに再起不能、神業のみ使用するエキストラとして扱う。

自分の技量に絶対のプライドを持っていたため、それを打ち砕いた『①カブト』に偏執的な恨みを抱いている。

#### ▼神業

■腹心（シザース）

■腹心（ニードル）

■とどめの一撃（イベントで使用）

# エンディングフェイズ

ENDING PHASE

## ●エンディング：さらば追憶

### ◆解説

共通のエンディング。ロベリアは最後に『①カブト』に《真実》を使用する。『①カブト』の答えがどのようなものでも、彼女は納得し、NOVAを去る。二度と『①カブト』たちの前に現れることはない。

### ◆描写

命を救われたロベリアは、礼を述べる。

#### ▼セリフ：ロベリア

「ありがとうございます、『①カブト』」

「……ジュリアは私にとって、かけがえのない希望でした。同じ顔をした彼女が、世界のどこかで自由奔放に生きている。そう想像するだけで、家督を継ぐ重圧にも耐えることができました」

「そんな姉を見殺しにしたあなたを、憎んでいました。ですが今、助けられたことを、どうとらえれば良いのか解りません」

「なぜ、助けに来てくれたのですか？《真実》を使用する)」

「——きっと私は、その言葉を聞くために、ここに来たのでしょう（静かに泣く）」

### ◆結末

ロベリアはその後、ヴィル・ヌーヴへ帰国する。二度と『①カブト』と関わることはない。

## ●個別のエンディング

プレイヤーが望むなら、『①カブト』『②ニューロ』それぞれが希望するエンディングを用意しよう。『①カブト』はジュリアの墓参り、『②ニューロ』は『①カブト』に新たな仕事舞い込むシーンなどがよいかもしれない。

## シザース

カタナ●、カゲ◎、チャクラ

## ▼設定

『①カブト』、俺の“鉄”を受けてみな！

部族民出身の屈強な男性。スコルピオンに才能を見出され、鍛え上げられた暗殺者の一人。白兵戦と毒物の扱いに長ける。刃に毒を塗った山刀（マチェット）の二刀流で戦う。

## ▼神楽

☐ 死の舞踏 ☒ 不可知 ☐ 黄泉還り

## ▼能力値 / 制御値

♠理性：7 / 13    ♣感情：2 / 14  
♥生命：9 / 14    ♦外界：5 / 7

## ▼戦闘データ

[CS] 9                      [AR] 1  
[防御力] S:2 / P:2 / I:4

## ▼一般技能

2♠♣♥◇ ★回避  
4♠♣♥♦ ★白兵

## ▼スタイル技能

3♠♣♥♦ 無風剣 (TOS66)  
1♠♣♥◇ 十二刀流 (TNX205)  
2♠♣♥◇ 十毒術 (TNX209)  
2♠♣♥♦ 十ボディウォール (TNX212)  
2♠♣♥♦ 鉄身 (TNX211)

## ▼アウトフィット

・フォレストナイフ ..... 電:14 / 隠:10 (CTL92)  
攻:S+4 受:2 射:至近 山刀(マチェット)、2本装備  
・VEN3 ..... 電:- / 隠:15 (TNX237)  
[BS:邪毒(3)] を与える神経毒  
・アーマージャケット ..... 電:12 / 隠:12 (TNX238)  
防弾防刃ジャケット  
・スキンメイル ..... 電:15 / 隠:16 (TNX239)  
皮膚に埋め込む金属装甲  
・閃鋼 ..... 電:16 / 隠:15 (TNX241)  
神経加速装置。セットアップで使用する [CS] +6

## ▼戦闘プラン

セットアップに閃鋼を使用、CS+6。  
メインプロセスでは〈白兵〉〈無風剣〉〈毒術〉による攻撃を行なう。攻撃力は[S+13]、命中したら[B S:邪毒(3)] を与え、メインプロセス終了時に邪毒によるダメージを与える。  
ニードルへの攻撃は〈ボディウォール〉でかばい、ダメージを〈鉄身〉で軽減する。  
〈不可知〉は、好事家の家の酒に毒を入れる際に使用している。

## ニードル

タタラ、カブトワリ◎、ニューロ●

## ▼設定

『いかに①カブト』でも、私の“針”を止めることはできない」

電脳スーツの女性。スコルピオンに才能を見出され、鍛え上げられた暗殺者の一人。狙撃と爆弾作り、電脳技術に長ける。狙撃によって、ターゲットを仕込んでおいた爆弾の近くに追いつき、爆殺する。

## ▼神楽

☒ タイムリー ☒ とどめの一撃 ☐ 電脳神

## ▼能力値 / 制御値

♠理性：8 / 14(13) ♣感情：3 / 12(11)  
♥生命：3 / 7(6)    ♦外界：8 / 15(14)

## ▼戦闘データ

[CS] 7                      [AR] 1  
[防御力] S:3 / P:2 / I:2

## ▼一般技能

4♠♣♥♦ ★射撃  
3♠♣♥◇ 電脳

## ▼スタイル技能

2♠♣♥◇ タップマスタリー (TOS106)  
2♠♣♥♦ 十ターボブースト (TNX225)  
3♠♣♥♦ 十爆破工作 (TNX187)  
2♠♣♥♦ 爆破工作II (TOS85)  
2♠♣♥◇ 跳弾 (TNX214)  
2♠♣♥◇ 十バックアップショット (TOS100)

## ▼アウトフィット

・サンダーボルト ..... 電:12 / 隠:- (TNX235)  
攻:P+7 受:- 射:近～遠 旧式の狙撃銃。  
・デケット ..... 電:18 / 隠:15 (CTL98)  
高性能トロンを内蔵した電脳スーツ

## ▼戦闘プラン

可能なら判定に常に〈電脳〉を組み合わせ、達成値に+2。  
セットアッププロセスでは〈電脳〉〈ターボブースト〉でCSに+ [カードの数字] する。  
メインプロセスでは〈電脳〉〈爆破工作〉〈爆破工作II〉〈跳弾〉による攻撃を行なう。攻撃力は[I+13]、〈知覚〉を組み合わせなければリアクションできない。  
また1カット1回、〈電脳〉〈射撃〉〈バックアップショット〉でシザースの判定の達成値に+ [達成値÷10 +1] する。アクト2回まで。  
〈とどめの一撃〉は喫茶店での狙撃に、〈タイムリー〉はオークション会場への爆弾設置に使用している。

## ■本作品について

本作品は、株式会社エンターブレインより刊行された『トーキョーN◎VA THE AXLERATION』や、その関連商品を取り扱った二次著作物（シナリオデータ）です。

『トーキョーN◎VA THE AXLERATION』とその関連商品、および『ゲーマーズ・フィールド誌』は、有限会社ファースト・アミューズメント・リサーチの著作物です。

本書の内容はフィクションであり、実在する歴史上の人物、団体、地名などとは一切関係がありません。

また、本書は特定の思想、信条、宗教などを擁護あるいは非難する目的を持って書かれたものではありません。

## ■利用規定

本作品は無料で自由にアクトに利用することが出来ます。

ただし、シナリオを使用した際には必ず、作者にシナリオやアクトの感想を送ってください。

シナリオ製作者にとって、なによりの励みは感想を貰えることです。

ホームページ (<http://dappleox.web.fc2.com/nova/NeuroCrowD/>) の各シナリオのダウンロードボックス内のツイートボタンを押し、感想ツイートを投稿してください。

(このため、本シナリオを使用するには twitter アカウントが必要になります)

また、シナリオの利用の際には以下の規約をお守りください。

- ① シナリオの著作権は各シナリオの作者にあります。
- ② シナリオの再配布、商用利用はご遠慮ください。
- ③ 投稿されているシナリオを利用したリプレイやプレイ動画の公開、あるいはコンベンションイベントでの使用など、特殊な使い方に関しては事前に作者に連絡を取り、可否を確認してください。

トーキョーN◎VA THE AXLERATION 投稿型シナリオ共有サイト

# NeuroCrowD

---

## 投稿シナリオ No.027 『さらば追憶』

発行日：2016.6.28

執筆（著作権者） SONE

イラスト なし

企画 ニューロ／CD製作委員会

DTP まだら牛

素材 Z-design

連絡用メールアドレス：dapple\_ox@gmail.com

サイトURL：<http://dappleox.web.fc2.com/nova/NeuroCrowD/>